

# 令和7年度相模原市立小学校学習状況調査委託

## 総合評価一般競争入札に係る落札者決定基準

### 1 落札者決定基準

入札参加者から提出された入札書及び提案書等を評価し、次のとおり落札者を決定する。

### 2 落札者の決定方法

- (1) 「技術点」(1400点満点)と「価格点」(700点満点)の合計点を「評価値」(2100点満点)とし、評価値が最も高い者を落札者とする。
- (2) 評価値の最も高いものが2者以上いる場合は、技術点の最も高い者を落札者とする。
- (3) (2)においても落札者が決まらない場合は、評価項目の「2 調査問題の質」、「3 データ分析の質」、「4 調査の活用」の順に、各項目の得点の合計が最も高い者を落札者とする。
- (4) (3)においても落札者が決まらない場合は、当該者のくじ引きにより落札者を決定する。

### 3 失格基準

- (1) 「技術点採点基準」の「提案を求める事項」について、一つでも未記載の項目がある場合には、失格とする。
- (2) 「技術点採点基準」の項目1～4のそれぞれの評価点が、各項目における満点の5割未満となる場合は失格とする。

### 4 技術点

- (1) 技術点は1400点満点とする。
- (2) 技術点は、審査委員会の委員が評価者となり、提案書等とプレゼンテーションの内容を、「技術点採点基準」における「提案評価の観点」に基づき、評価者一人あたり280点を最大値として採点する。
- (3) 評価者5名の採点結果を合計し、技術点(280点×5=1400点)とする。

### 5 価格点

- (1) 価格点は700点満点とする。
- (2) 価格点は、入札参加者それぞれの入札価格に基づき算出する。ただし、入札価格が、本件の予定価格の制限の範囲を超えている場合は、落札者とししない。

[価格点の算出方法]

$$\text{価格点} = 700 \times \left( \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

### 6 その他

価格点は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示とする。

# 技術点採点基準

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
1 会社概要と実績・履行能力			150
(1)会社概要と実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に対する理念、考え方等を記載すること。</li> <li>・障害者の雇用状況、男女共同参画の取組状況等、社会貢献につながる提案者の取組を記載すること。</li> <li>・提案者が相模原市と関わった取組があれば記載すること。</li> <li>・本件に関する調査を実施している自治体の数、調査人数など、調査の信頼性を評価する上で必要な情報を記載すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の各項目について、実績や具体的な取組状況等を総合的に評価する。</li> </ul>	50
(2) 調査問題等の配送、解答用紙の回収に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査問題等の配送や回収がどのような方法で行われるか、具体的に記載すること。</li> <li>・個人情報を取り扱う上での配慮について、具体的に記載すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査問題等の配送、回収に関し、遅れ等を生じない、適切な方法であるかを評価する。</li> <li>・個人情報を取り扱う観点から、解答用紙の回収が適切な方法で行われるかを評価する。</li> </ul>	50
(3) 採点、調査結果の返却に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採点に関わる業務のフローを具体的に記載すること。また、採点ミス等、修正の必要が生じた場合の対応について、具体的に記載すること。</li> <li>・分析結果として、個人、学校、教育委員会に返却される資料を列挙するとともに、それらがどのような媒体で返却されるか記載すること。</li> </ul> <p>※資料に記載される具体的な内容については、「3 データ分析の質」に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査終了後から、調査結果の返却までに要する期間を記載すること。</li> </ul>	<p>次の内容を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採点は間違いなく、確実に行われるか</li> <li>・調査結果に関わる各資料が、活用しやすい媒体で返却されるか</li> <li>・調査結果の返却が速やかに行われるか</li> </ul>	50

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
2 調査問題の質	500		
(1) レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字のフォントや行間等、調査問題や解答用紙の見やすさに関する配慮事項を記載すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査問題や解答用紙が見やすく、解答しやすいものであるかどうかを評価する。</li> </ul>	100
(2) 調査問題（国語） 〔知識・技能〕の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>およその設問数を記載すること。</li> <li>調査問題の設計や出題をする上で工夫されている点について、具体的に記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設問数は適切か</li> <li>問題の内容は、学習指導要領に示された資質・能力の定着度合いを測るものとして適切か</li> <li>事実的な知識、概念的な知識をバランスよく問える設問であるか</li> </ul>	100
(3) 調査問題（国語） 〔思考・判断・表現〕の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>およその設問数を記載すること。</li> <li>調査問題の設計や出題をする上で工夫されている点について、具体的に記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設問数は適切か</li> <li>問題の内容は、学習指導要領に示された資質・能力の定着度合いを測るものとして適切か</li> <li>思考力・判断力・表現力等を一体的に問える設問であるか</li> </ul>	100
(4) 調査問題（算数） 〔知識・技能〕の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>およその設問数を記載すること。</li> <li>調査問題の設計や出題をする上で工夫されている点について、具体的に記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設問数は適切か</li> <li>問題の内容は、学習指導要領に示された資質・能力の定着度合いを測るものとして適切か</li> <li>事実的な知識、概念的な知識をバランスよく問える設問であるか</li> </ul>	100
(5) 調査問題（算数） 〔思考・判断・表現〕の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>およその設問数を記載すること。</li> <li>調査問題の設計や出題をする上で工夫されている点について、具体的に記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設問数は適切か</li> <li>問題の内容は、学習指導要領に示された資質・能力の定着度合いを測るものとして適切か</li> <li>思考力・判断力・表現力等を一体的に問える設問であるか</li> </ul>	100

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
3 データ分析の質			450
(1) 児童生徒に返却される内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人票や Web 上に示される個人データの内容を具体的に記載すること。</li> <li>・児童や保護者が調査結果を活用しやすいよう、工夫されている点を記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人票に示される内容は、児童や保護者が活用しやすいか</li> <li>・Web 上に示される個人データの内容は、児童や保護者が活用しやすいか</li> </ul>	150
(2) 学校に返却される内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に返却される資料の内容を具体的に記載すること。</li> <li>・教職員が調査結果を活用しやすいよう、工夫されている点を記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に返却される資料は、教職員が活用しやすいか</li> <li>・学校や学年、学級の各単位で、学力の状況が捉えやすいよう、工夫されているか</li> </ul>	150
(3) 教育委員会に返却される内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会に返却される資料の内容を具体的に記載すること。</li> <li>・教育委員会が調査結果を活用しやすいよう、工夫されている点を記載すること。</li> <li>・解答類型がどの程度用意されているか、具体例を挙げて記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会に返却される資料は、活用しやすいか</li> <li>・市、学校、学年、学級の各単位で、学力の状況が捉えやすいよう、工夫されているか</li> <li>・解答類型を適切に設定するなど、誤答から詳細な分析ができるよう工夫されているか</li> </ul>	150

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
4 調査の活用			200
(1) 調査を基にした学習教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習教材等が提供される場合は、その具体を記載すること。</li> <li>・各児童の課題に応じた学習教材等が提供される場合は、その具体を記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習教材等の量と質は充実しているか</li> <li>・児童の課題に応じた学習ができるよう、学習教材等が工夫されているか</li> </ul>	100
(2) 調査結果活用に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が調査結果を分析し、活用するために、「学びの調査担当者会」においてどのような提案ができるか、記載すること。</li> <li>・学校から調査結果活用に向けた研修等の要請のあった場合、どのような支援ができるか、具体的に記載すること。</li> </ul>	次の内容を総合的に評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの調査担当者会」における提案が、調査結果の分析や活用に生かされるものであるか</li> <li>・学校からの研修等の要請に対し、適切な支援が行われるか</li> </ul>	100

項番・項目	提案を求める事項	提案評価の観点	配点
5 その他			100
(1) その他、上記以外の内容で提案できるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4の項目以外に、提案できるものがあれば記載すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習改善、教員の指導改善に結びつく取組であるかを評価する。</li> </ul>	100